

アイダ設計の「BRAVO ZNEXT (ブラーボ・ゼネクト) 」 省エネルギー性能の優れた住宅のアワード 「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」2018 で優秀賞を受賞

この度、株式会社アイダ設計（本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町、代表取締役社長：會田 貞光）が展開するZEH仕様の注文住宅『BRAVO ZNEXT (ブラーボ・ゼネクト) 』が、一般財団法人日本地域開発センター主催の「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」2018において優秀賞を受賞しました。



各地に体感型モデルハウスを展開

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、建物躯体とエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能の優れた住宅を表彰するものです。今回、数ある住宅商品の中から、アイダ設計のZEH基準の注文住宅『BRAVO ZNEXT』が「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」2018において優秀賞を受賞しました。

『BRAVO ZNEXT』の特徴である“ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）”とは、住まいの年間「一次エネルギー消費」を高断熱や高効率設備による「省エネ」に加え、太陽光発電等による「創エネ」でおおむねゼロにする住まいのことで、地球環境に優しいだけではなく、経済的にもゆとりのある暮らしを提供しています。政府は、2020年までに標準的な新築住宅のゼロ・エネルギー化を推進しています。

『BRAVO ZNEXT』は、2016年10月に販売開始し、首都圏を中心に各地に体感型モデルハウスの展開を続け、住まう人・家・環境、そして家計の健康をより多くの皆さまに実体験していただいております。

(BRAVO ZNEXT詳細についてはHP：<http://www.aidagroup.co.jp/order/view/6>)

